

大切な命を救い、地域の安心を支えます

平成21年10月5日、基地病院に市立釧路総合病院、基幹連携病院を釧路孝仁会記念病院として、釧路・根室圏待望のドクターヘリが運行されました。

ドクターヘリについては、この数年で知名度は上がっているものの、全国的な導入地域は少数にとどまっているのが現状です。北海道で2機目となるドクターヘリが釧路・根室圏に導入されたことで、根室市をはじめ釧路地域に住む私たちの生命を救う力強い支えとして、大きな期待が持たれています。

ドクターヘリとは

ドクターヘリは、厚生労働省が定める「救急医療対策事業」により整備され、平成25年度までの委託費約六億六千九百万円は、国と道によって補助されます。

基地病院の市立釧路総合病院は、救命救急センターとして事業の実施主体となり、基幹連携病院の釧路孝仁会記念病院が、ヘリの格納庫と給油施設を有し、基地病院と連携してドクターヘリを運行しています。

救急医療用の医療機器等を装備したヘリには、救急医療の専門医および看護師が同乗し救急現場に向かい、現場等から医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行います。

ドクターヘリの出動は

ドクターヘリは、消防機関に119番通報があった時点で、大事故、大けが、急病（心筋梗塞、脳卒中）など、生命に危険がある場合や救急現場で医

師の早期診療が必要なときに、基地病院または基幹連携病院から5分以内に出動します。医療スタッフや受入医療機関についても、基地病院を中心に複数の医療機関の連携で行われます。

ドクターヘリの運航は、基本的に午前8時30分から運航を開始し、日没を終了時間としていることから、夏季は午後6時、冬季は午後4時としていますが、霧などにより視界が悪いときには出動できません。また、着陸には釧路・根室圏の運航範囲内で事前に登録された臨時離着陸場（公共のグラウンドや公園、小中学校の校庭など）で、救急現場に最も近い臨時離着陸場をラウンダーポイントとして救急車と合流します。

ドクターヘリの費用は

ヘリによる搬送には特別な費用はかかりませんが、救急現場で受けた治療行為に対しては、一般の病院で受ける場合のように医療保険の範囲内で医療費（初診料、往診料、処置料など）がかかります。

臨時離着陸場は

根室市のドクターヘリの臨時離着陸場は、防災ヘリポートをはじめ青少年センター駐車場や市内各小中学校のグラウンド18カ所が登録されています。

離着陸のときには、消防署で事前に消防車両を出動させ周辺の安全を図りますが、運行について市民皆さんのご理解とご協力をお願いします。